

## 検査内容変更のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
この度、下記検査項目につきまして、検査内容の変更をさせていただくこととなりましたのでお知らせ致します。  
何卒宜しくご了承賜りますようお願い申し上げます。

敬 具

2007年12月

【記】

検査内容変更項目
----------

尿中レジオネラ抗原  
遊離コルチゾール  
総エストロゲン（非妊婦）  
総エストロゲン（妊婦）  
メタネフリン2分画  
17-OHCS  
17-KS（総）  
プレグナンジオール  
プレグナントリオール  
シュウ酸

変更期日：2007年12月22日(土)受付分より

詳細につきましては裏面をご参照下さい。

□変更内容

項目名	変更内容	新	旧	備考
尿中レジオネラ抗原	検査方法	イムノクロマト法	ELISA	検査方法の変更
	検体必要量	尿1.0ml・冷蔵	尿1.0ml・凍結	
	所要日数	2～5日	3～6日	
遊離コルチゾール	検体必要量	蓄尿5ml・凍結(蓄尿量記入)	蓄尿2ml・冷蔵(蓄尿量記入)	
	所要日数	3～8日	3～6日	
総エストロゲン・非妊婦	検体必要量	蓄尿5.0ml・凍結(蓄尿量記入)	蓄尿3.0ml・冷蔵(蓄尿量記入)	
	所要日数	11～18日	9～16日	
総エストロゲン・妊婦	検体必要量	蓄尿1.0ml・凍結(蓄尿量記入)	蓄尿1.0ml・冷蔵(蓄尿量記入)	検査内容の見直し
	報告形式	小数点第2位	小数点第1位	
	所要日数	5～8日	3～10日	
メタネフリン2分画	検体必要量	酸性蓄尿5.0ml・凍結(蓄尿量記入)	酸性蓄尿2.0ml・冷蔵(蓄尿量記入)	
	基準範囲	メタネフリン:0.04～0.19 mg/day ノルメタネフリン:0.09～0.33 mg/day	メタネフリン:0.05～0.20 mg/day ノルメタネフリン:0.10～0.28 mg/day	
17-OHCS	検査方法	比色法(酵素水解法)	比色法(神戸川変法)	検査方法の変更
	検体必要量	蓄尿8.0ml・冷蔵(蓄尿量記入)	蓄尿5.0ml・冷蔵(蓄尿量記入)	
	基準範囲	男性:3.4～12.0 mg/day 女性:2.2～7.3 mg/day	男性:2.9～11.6 mg/day 女性:1.6～8.8 mg/day	
17-KS(総)	検査方法	比色法(酵素水解法)	比色法(神戸川変法)	検査方法の変更
	検体必要量	蓄尿8.0ml・冷蔵(蓄尿量記入)	蓄尿5.0ml・冷蔵(蓄尿量記入)	
	基準範囲	男性:4.6～18.0 mg/day 女性:2.4～11.0 mg/day	男性:4.6～16.4 mg/day 女性:2.4～11.3 mg/day	
プレグナンジオール	検体必要量	蓄尿12.0ml・冷蔵(蓄尿量記入)	蓄尿5.0ml・冷蔵(蓄尿量記入)	検査内容の見直し
	基準範囲	男性:0.16～0.79 mg/day 非妊婦 卵胞期:0.28～1.42 mg/day 黄体期:0.79～6.83 mg/day 妊婦 前期:1.29～6.08 mg/day 中期:3.05～24.22 mg/day 後期:9.10～60.51 mg/day	男性:0.1～1.0 mg/day 女性 卵胞期:0.2～1.3 mg/day 黄体期:0.7～4.7 mg/day 閉経後:1.0以下 mg/day	
プレグナントリオール	検体必要量	蓄尿12.0ml・冷蔵(蓄尿量記入)	蓄尿5.0ml・冷蔵(蓄尿量記入)	
	基準範囲	男性:0.13～1.60 mg/day 女性 卵胞期:0.13～1.30 mg/day 分泌期:0.13～1.90 mg/day 閉経期:0.02～0.83 mg/day	男性:0.2～1.5 mg/day 女性 卵胞期:0.1～1.3 mg/day 黄体期:0.2～1.6 mg/day 閉経後:1.0以下 mg/day	
シュウ酸	検査方法	キャピラリー電気泳動法	G. C	検査方法の変更
	検体必要量	酸性蓄尿3.0ml・冷蔵(蓄尿量記入)	酸性蓄尿1.5ml・冷蔵(蓄尿量記入)	
	基準範囲	男性:10.3～41.5 mg/day 女性:9.0～37.7 mg/day	16.2～53.3 mg/day	